

おでかけ交通博2024inつるおか

鶴岡市内循環バスの再編導入と おでかけの促進について



令和6年10月4日

庄内交通株式会社
乗合バス事業部
部長 中村美穂



鶴岡市の概要

◆位置

山形県庄内地域(日本海側)

◆総面積

1,311.53km² (東北No.1)
(東西43.1km、南北56.4km)
・・・うち市街地・・・
東西4.3km、南北3.3km

◆人口

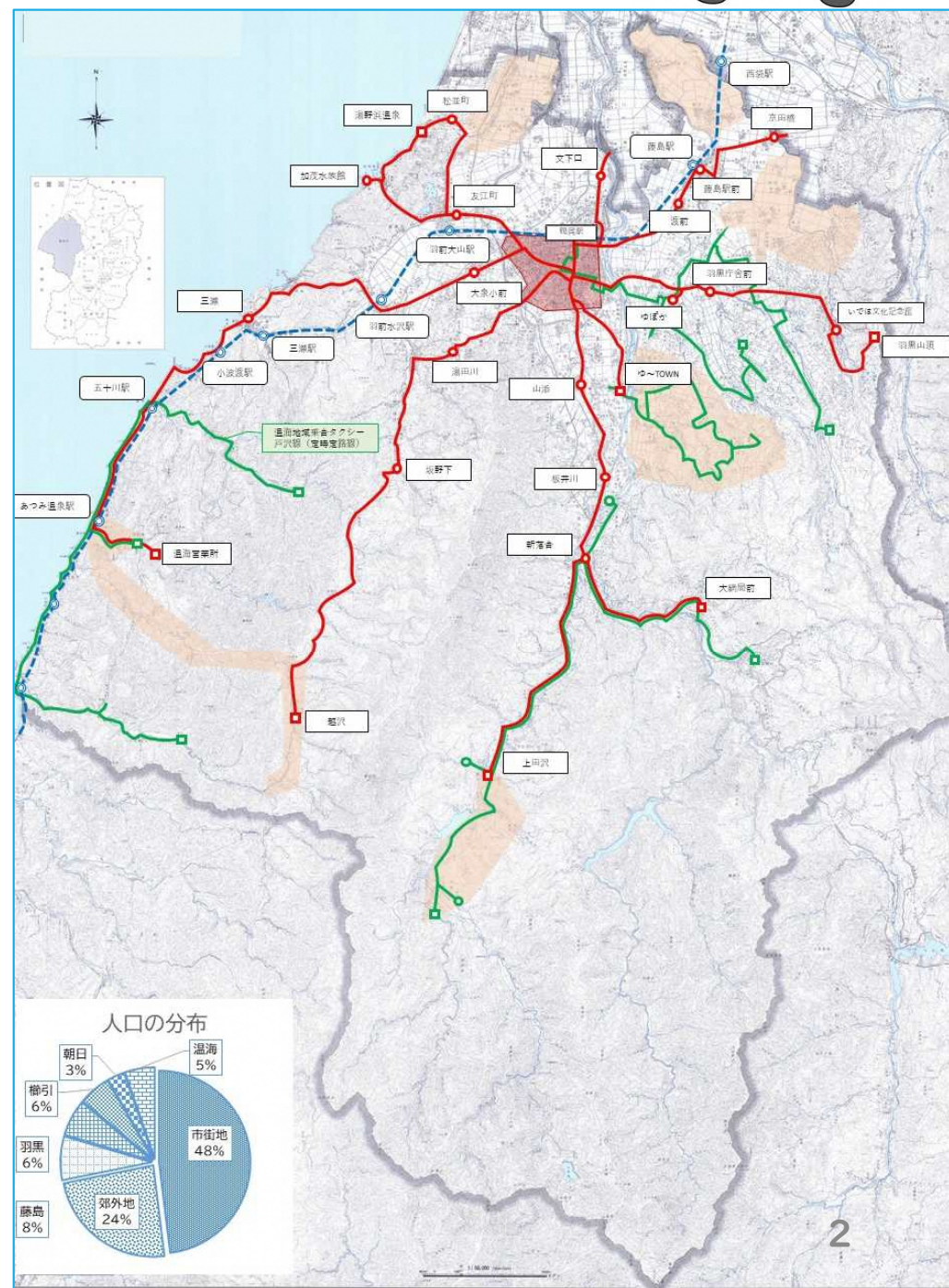
117,291人 (R6.8末) うち市街地人口 48%

◆高齢化率

36.7% (R6.3末)
全国28.6%、山形県33.8%(R2国調)

◆自家用車依存度

84.5% 全国でもトップクラス (R2国調)





市街地バス路線の課題

市街地**居住者は多いのにバス利用者が少ない**

鶴岡市街地内には郊外に出ていく路線バスはあるが、**市街地を回るバスがない**

鶴岡市内の従来の市内廻り線は幹線道路を運行しており、**バス停まで遠く、現状、利便性が低い**

鶴岡市でのアンケート調査によれば、市民が路線バスを不便だと思う理由は「**本数が少ない**」「**運行する時間帯が外出時間と合わない**」

地域住民が**利用しやすい時間帯設定**と市街地の**高齢化率が高いエリアをカバー**する必要がある

市街地居住者は、小中学校への登校も徒歩であり、家族全体として**バスが移動手段として選択肢に上がっていない**

山形県は一世帯当たりの**自家用車保有率が全国でも高い**。免許返納を何故しないのかと聞くと「**バスに対して期待感が低い**」という話をされることが多い

逆に言えば、公共交通機関が**便利になれば利用される**と見込み、**高齢者をターゲットに絞り再編を計画**

令和4年10月1日市内循環再編運行開始へ



再編設定ポイント

高齢者のニーズを考えた『ルート設定』

- ・ 65歳以上の独居高齢者の多い町を経由
- ・ 交通空白地帯へ新規ルート
- ・ 買い物、通院、娯楽

バス停留所の増加

- ・ 約300m圏内にバス停を設置

運行本数の大幅増加

- ・ 1日当たり: 2路線往復各3回=12回
→ 3路線往復各8回=48回
 - ・ 土曜日曜の新規運行
 - ・ 市街地の観光利用者も視野に
- 年間運行回数 6倍**

分かりやすい時刻設定

- ・ バス停の通過時分が毎便同じになるように

バスの小型化

- ・ ハイエース13人乗り
- ・ 従来入れなかった狭い道路の住宅街まで
- ・ 乗務員確保にも繋がる

分かりやすい運賃設定

- ・ 運賃300円均一
- ・ ICカードで1日乗車券500円



苦慮した点

ニーズ

高齢者がどこに行きたいか？

買い物はどこでしているのか？

買い物通院以外の外出先は？

ルート

城下町で通り抜け不可

降雪時の走行可否

1週の時間設定

拠点の経由方法

バス停

300m間隔で設置場所の選定

住宅街で設置許可とりにくい

降雪時のバス待ちスペース

運賃

適正な運賃はいくらか？

利用促進

バスに馴染みのない地域への告知

知ってもらい、試してもらうきっかけ作り

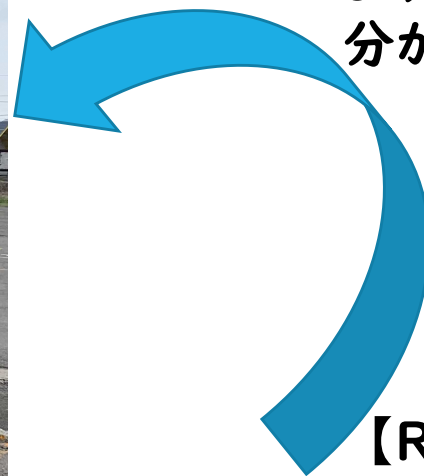


車両の小型化 (ハイエースコミューター13人乗り)

【R5.4変更】



より見やすく
分かりやすい車両へ

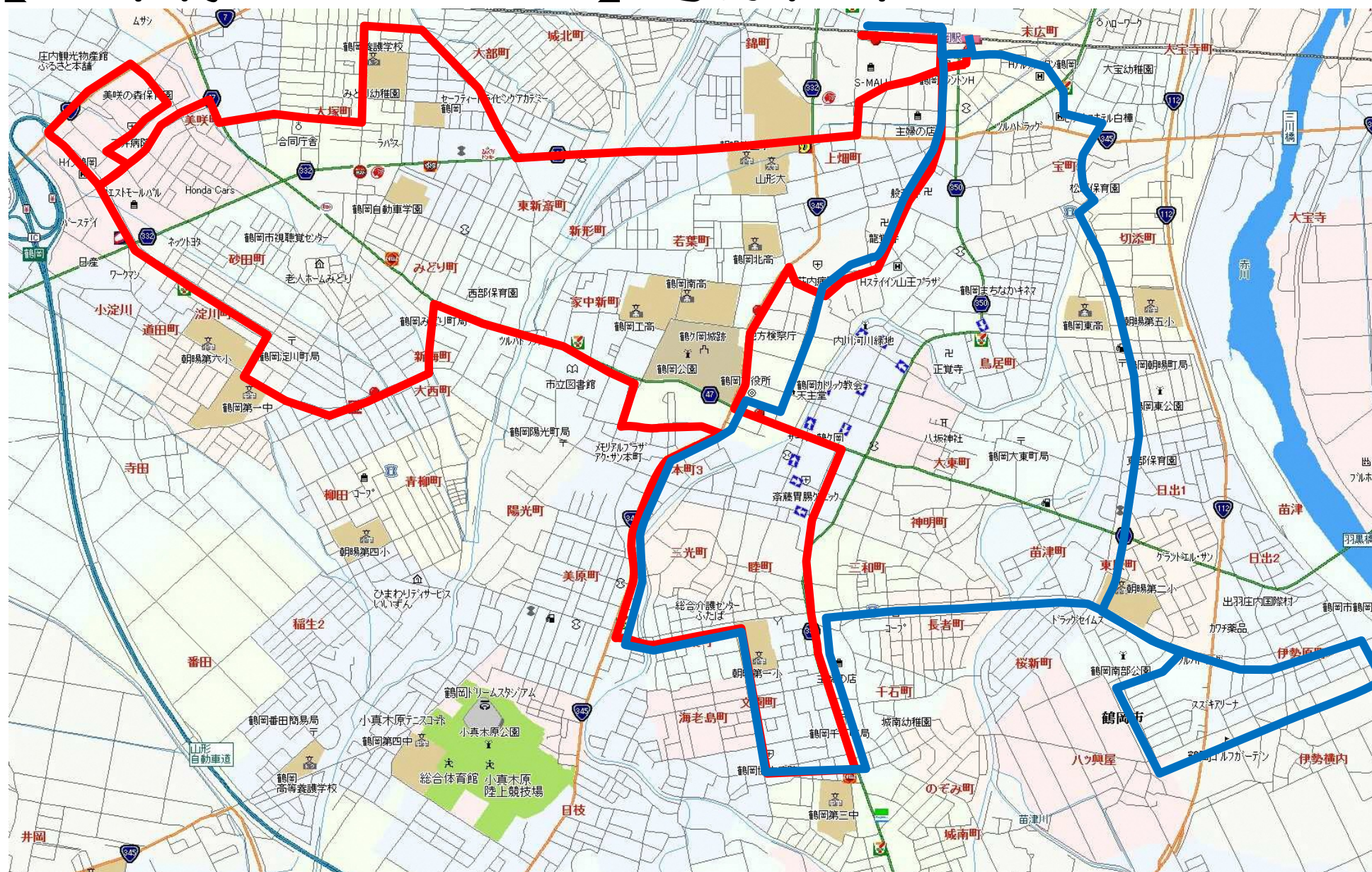


【R4.10運行開始時】



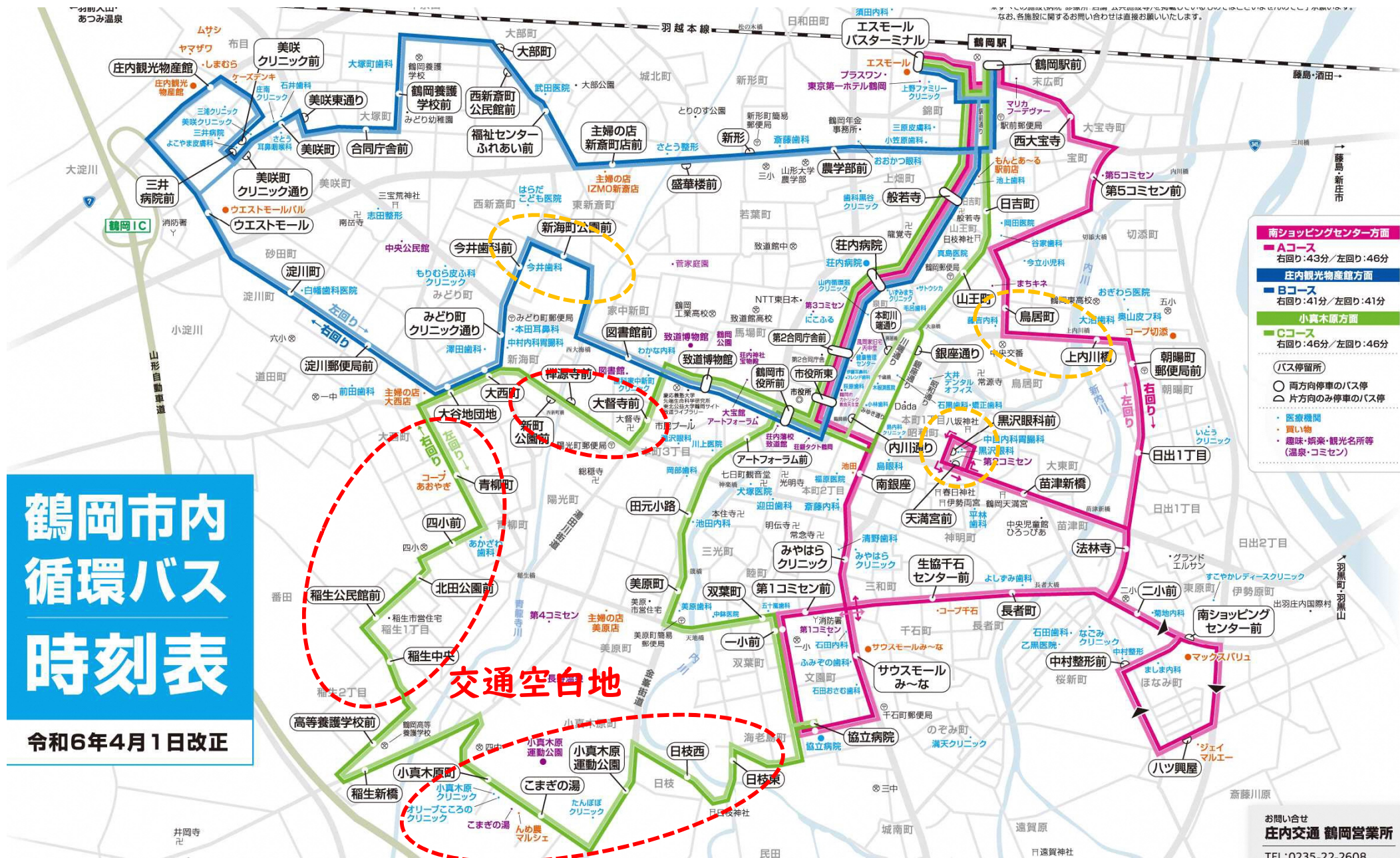


【旧路線～R4.9.30】運行経路





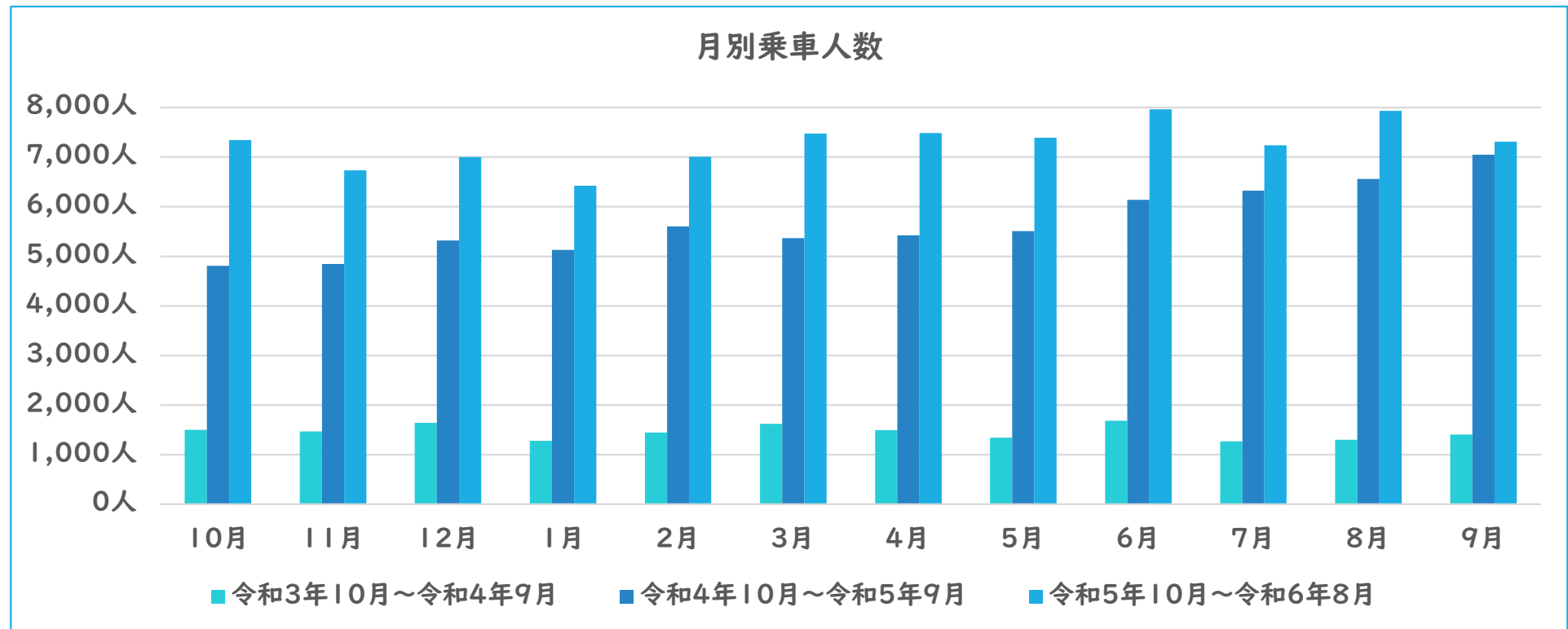
【再編後 R4.10.1~】運行経路





導入後の利用状況

	【再編前】 R3.10~R4.9	【1年目】 R4.10~R5.9	【2年目】現在 R5.10~R6.9	再編前差	再編前比
乗車人数	17,475人	68,071人	87,264人	+69,789人	4.99倍
1便当たり	6.06人	3.89人	5.03人		
実車走行キロ	44,208.0km	242,202.3km	243,915.4km	+199,707.4km	5.51倍



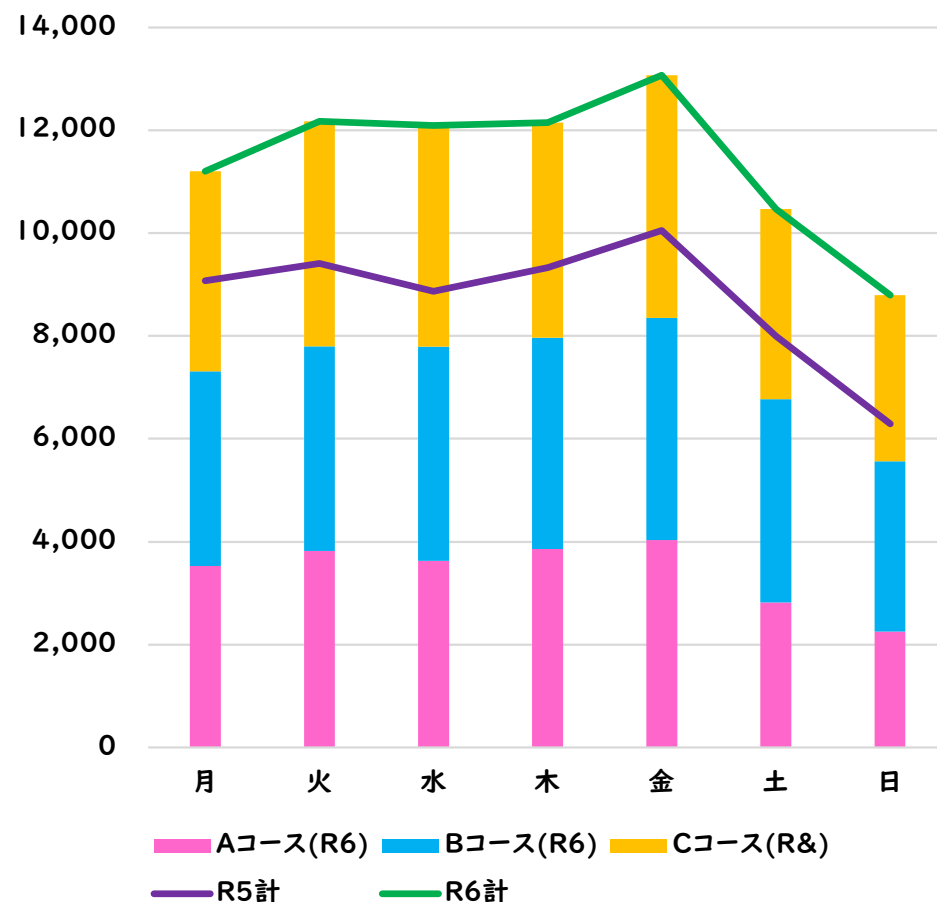


ICデータから利用状況の把握

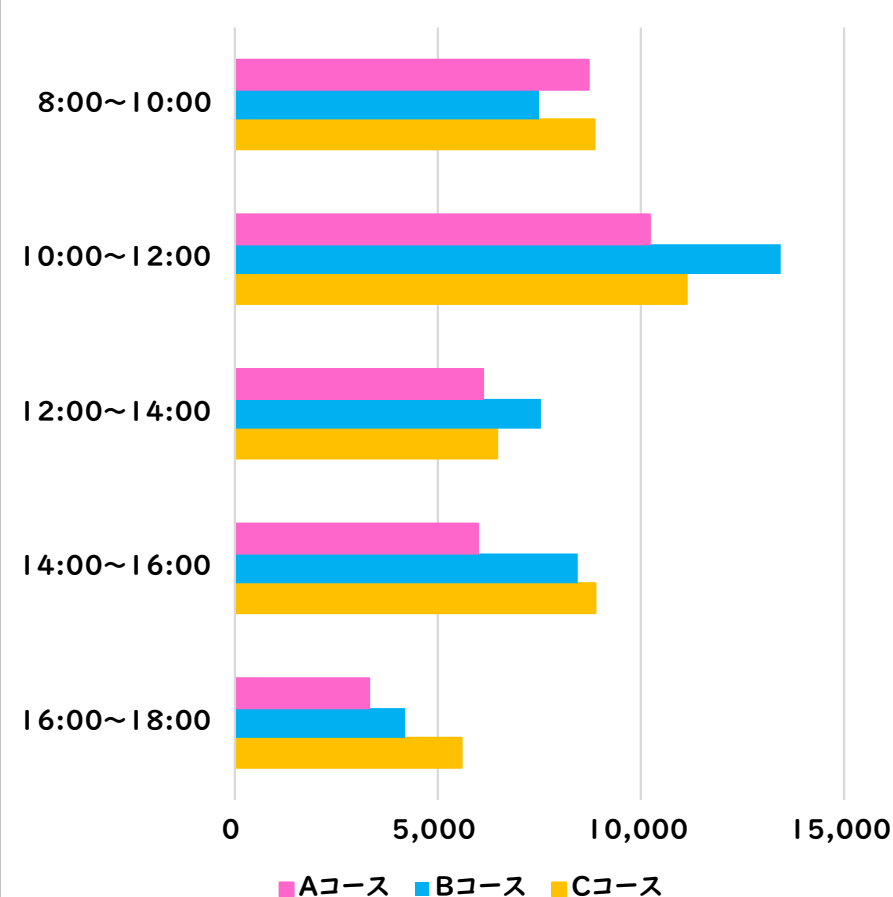
★平日の利用者数は増加、土日の
びなやむ

★高齢者の移動時間

曜日別利用者数(10~8月)

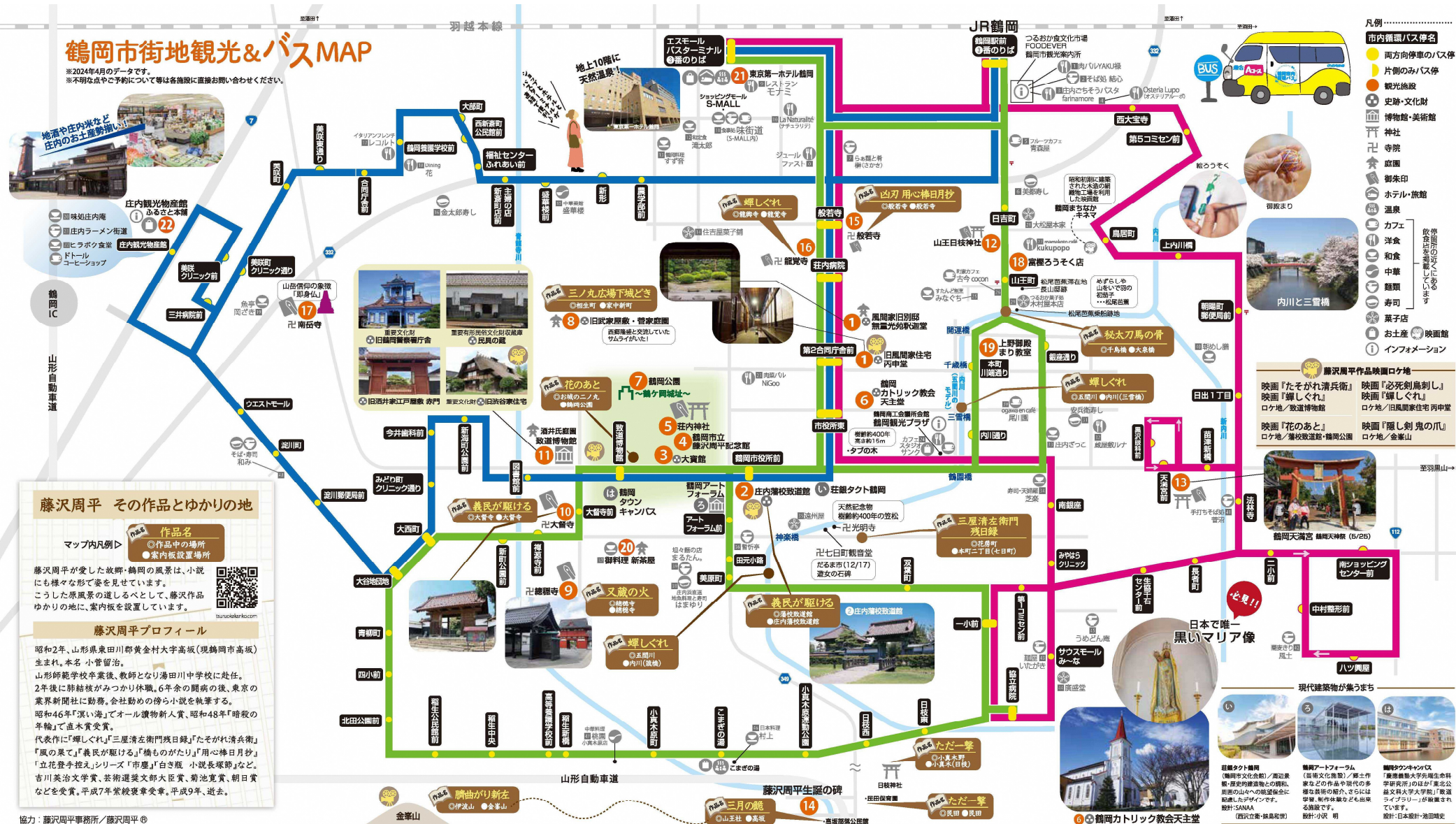


時間帯別利用者数 (R5.10~R6.8)



対策・・・

『つるおかまちあるきMAP』の作成配布によるおでかけの促進





地域連携ICカード「shoko cherica」導入後の現状

■導入時（令和4年5月末日）

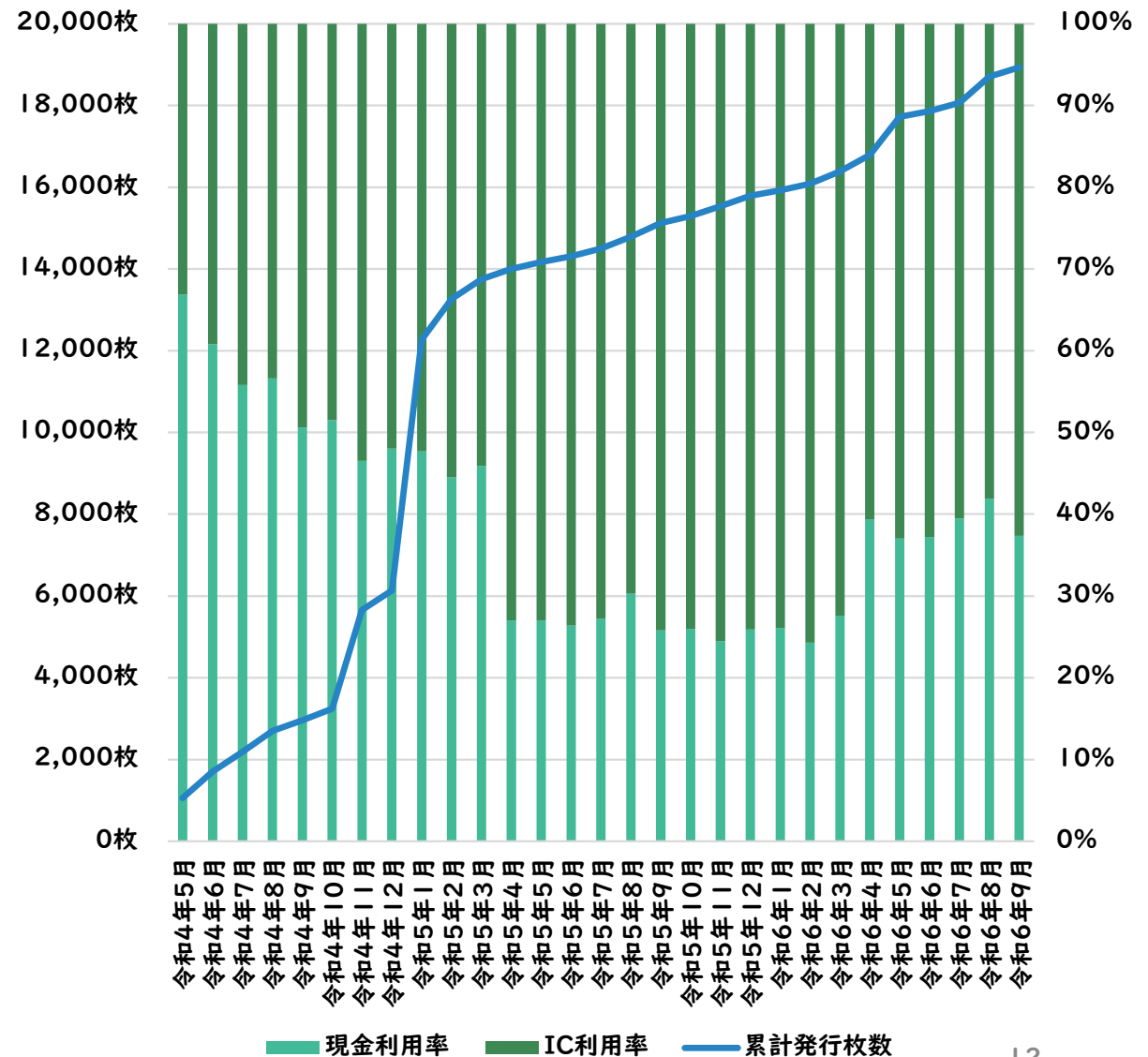
- カード販売枚数 1,058枚
- IC利用率 33.1%
 - shoko cherica 30.2%
 - Suica他 69.8%



■現在（令和6年9月末日）

- カード販売枚数 18,937枚
- IC利用率 62.6%
 - shoko cherica 35.6%
 - Suica他 64.6%

shoko cherica発行状況とICカード利用状況





利用促進に関する取り組み

「つるおか1日乗り放題券」の乗車券設定

バスロケーションシステムの導入

Googleとのデータ連携

観光型
「TOHOKU MaaS」への参画

バスの乗り方教室の実施

バスのイベント開催・各種イベントへの出店

高齢者体操教室等への出張説明



バスの乗り方教室の様子（平成27年より実施）

高齢者地域集いへ



「バスまつり」自社開催



高校(福祉)授業へ



高齢者体操教室へ

